

みっはし

三橋さぶろう

議会活動報告



3歳児健診の眼科検査

2月15日から始まっている定例会で来年度予算の審議が始まっています。この予算の中に3歳児健康診査の眼科健診で使用する機器の購入費が新たに計上されました。説明資料によると3歳児健診の眼科健診の精度を上げることを目的として、現在、自宅検査及び問診結果により、他覚的検査として必要時のみ実施しているオートレフラクトメータによる測定代わりに、「手持ち自動判定機能付きフォトスクリーナー装置」を2台購入し、**3歳児健診受診者全員に検査を実施するため**です。主な経費2百40万円。船橋市の予算規模から考えると、それほど大きな新規事業ではありませんが、子どもたちの大切な眼の成長を見守っていくためには大きな取り組みを始めることとなります。

私は平成28年第1回定例会から、3歳児健診で全員の子どもに機器を使った検査を行い、目の異常の発見し治療につなげてもらいたいと本会議で過去4回、質問し取り上げてまいりました。乳幼児の目の異常は早期に発見し、治療することが大切です。残念ながら眼科疾患の中にはどんなに早期に発見し、治療しても治らないものもあります。

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(40歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業
株式会社カネボウ
江東区健康スポーツ公社
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・健康福祉委員会、会派:民主連合
LGBT議員議連、消防委員
- 特技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 船橋市消防団20分団2班
- 好きな言葉: 出来ることからコツコツとやる
- 家族: 妻、息子(6歳)、娘(8か月)
- 趣味: 子どもと散歩
- 船橋市習志野台1丁目 在住
- 身長:170cm 体重:68Kg

(表面から)

しかし、幼児の弱視等は治療を早期に開始すれば、9割の子供に治療効果があるようです。4歳までに治療を開始できれば治療効果が早く見られ、小学校に入るまでには矯正視力1.0に達する、とおっしゃる眼科医もいらっしゃいます。

一方で、この弱視の発見が遅れてしまうと、治療しても効果が低い場合が多く、小学校に入ってから治療では遅すぎるのではないかという指摘もあります。こういったことから、3歳児健診での目の異常をしっかりと発見する必要がありましたが、現行の3歳児健診での眼科診査では必ずしも眼の異常を発見できていません。

- ① 幼いため検査がうまく受けられない。幼児は自分自身で目が悪いと感じていない。乳幼児は0.2程度の視力があれば日常生活は不自由なく生活できてしまう。
- ② 3歳児健診の視力検査は保護者が自宅でランドルト環や絵指標を使って行うことになっている。このため検査方法を保護者が正しく理解していない場合もあり、検査結果が正確ではない。

このようなことから、私は全員の子どもに機器を使った目の検査を実施し、眼の異常を見落とさないように求めてきました。やっと本来年6月からはフォトスクリーナーという機器を使って、3歳児健診会場で使用し全員の子どもが受けられるようになり、眼の異常の見落としが無くなります。

調査研究してきた中で、子どもの弱視の発見が遅れて一生、視力不良が続く子を持つ母親の後悔と悲痛な思いの書かれた手紙を読んだこともありました。また眼科医からは将来、航空業界へ進路を考えていた女子高生が、幼児期に弱視の治療が行われないことが原因で、矯正視力が十分でないことから進路変更を余儀なくされ、診察室で泣き崩れたお話も伺いました。

幼児の眼の異常を見落とすことによる悲劇を繰り返さないためにも、三橋さぶろうは3歳児健診での眼の検査は、機器を使ってすべての子どもに行うことを、全国の自治体議員に協力しながら進めて参ります。

ご意見やご要望をお寄せください。

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 (新京成線習志野駅から徒歩4分)

電話：047-402-2810

FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

三橋さぶろう まで

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。